

2022 年度第 11 回価格審査会の開催について

2022 年度第 11 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 2023 年 2 月 14 日(火) |
| 場 所 | 6 階大会議室 |
| 委 員 | 田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 竹本 康之 東日本建設業保証株式会社 業務部 業務サービス課長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括) |
| 当 会 | 共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：今井 豊 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲 |

2022 年度第 10 回価格審査会議事録(案) 確認

2022 年度第 11 回価格審査会審議資料説明

| 審議資料の説明 |
|--|
| <p>1. 「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（岐阜市ほか 22 都市）、線材製品（東北地区ほか 3 都市）、セメント（バラ）（京都市ほか 2 都市）、レディーミクストコンクリート（静岡市ほか 14 都市）、再生砕石類（宮古市ほか 5 都市）、PHCパイプ（札幌市ほか 14 都市）、アスファルト混合物（仙台市ほか 29 都市）、鉄スクラップ（全国）ほか・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 レディーミクストコンクリート（福井市）、一般建築用木材（全国）、配管用ステンレス鋼鋼管（溶接管）（北海道地区ほか 8 都市）、燃料油（札幌市ほか 22 都市） <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明 |

| 審議事項 | 委員の意見、質問 | 建設物価調査会説明・回答 |
|------|---|---|
| 質問 1 | 一般建築用木材の下落理由に「需要減少による」とあるが、ヒアリングによるものか、それとも何か参考資料によるものなのか。 | 一般建築用木材に関する需要は、直近データではないが住宅着工統計を参考資料としながら調査先にヒアリングして総合的に判断している。 |
| 質問 2 | 東北の奥州地区における砕石の値上がり理由に「働き方改革」の影響によるとあったが、どのような影響なのか。 | 働き方改革関連法における労働時間の上限遵守のために従業員を増やす動きが拡大しており、結果、労務費が増大し生産コストが上昇している。 |
| 質問 3 | 「橋梁用床板－ブランド品－」と「住宅用手すり－ブランド品－」で最大変動幅が大きいけどどのような理由か。 | 「橋梁用床板－ブランド品－」の分類には本体価格以外に加工費等の加算額が含まれており、この変動幅が大きかった。「住宅用手すり－ブランド品－」は、アルミ材の値上がりを背景に値上げが続くなか、一部の大手メーカーは価格を据え置いていたが、ここにきて一気に値上げを行ったため変動幅が大きかった。 |
| 質問 4 | スパイラルフープで「需給ひっ迫を背景に上伸」とコメントがあり「火災事故の影響」との説明があったが、どういう状況だったのか。 | 関西地域で大きなシェアを持つ電炉メーカーの工場に火災が発生し生産が停止した。これにより関西地域を含む西日本の需給に大きな影響を及ぼしている。なお、現在も生産が再開できていない状況にある。 |
| 質問 5 | 凍結防止剤で今月号は高松市のみ上伸しているが、高松市だけの理由は何か。 | 今月号は高松市だけであるが、11月号では金沢・静岡・名古屋市で上伸、2月号では大阪市で上伸している。凍結防止剤は輸入による調達割合が高く、現地の調達価格の上昇や為替の影響などにより全国的に上昇傾向にある。 |
| 質問 6 | 異形棒鋼が西日本側のみで値上がりしている。「電力料金の値上げは東日本側で大きい」と過去に説明があったが、今月号で西日本側だけが値上がりしている理由は何か。 | 2022年6月ぐらいから原材料である鉄スクラップ価格の下落に合わせて、西日本で大幅に下落したが、東日本は電力料金の高騰を理由に下げ幅が小さく価格差が大きく開いた。西日本が大きく下落していたことや、西日本は原発もあり電力料金上昇の影響によるメーカーの値上げが遅かったことから、ここへきて西日本が上伸となった。 |
| 質問 7 | レディーミクストコンクリートの値上げは、全国的に落ち着いてきたとみてよいのか、それとも今後も大きな値上げはあるのか。 | 主要都市の東京、名古屋、大阪でも値上げの動きは行われており、全国的に見てもこれから値上げは続いていくと予想される。 |

| | | |
|------|--|--|
| 質問 8 | <p>ストレートアスファルトが値下がりしてきているが、それを原材料とするアスファルト混合物には値動きがない。これから値下がりするのか。</p> | <p>ストレートアスファルトの原材料である原油価格が再び値上がりする懸念と過去の値上がり分が販売価格に未反映であるとの理由から、アスファルト混合物メーカーは販売価格を据え置きとしている。ただし需要家の値引き要求はより強くなるとみられるため、各地区の状況次第では下落となる可能性もある。</p> |
| 質問 9 | <p>コンクリート型枠用合板のコメントに「国内需要が低迷しているため、現地の雨季による入荷減の影響は見られず」とあるが、雨季で入荷減であるがその影響も受けないぐらい需要が低迷しているという意味か。</p> | <p>その通りである。過去2年間は需給がひっ迫し、価格は上昇していたが、ここ数カ月は需要が減少したことにより需給が緩和した。需要家は手持ち在庫で対応可能。需要が早急に回復することはないとみられる。</p> |
| 審議結果 | <p>「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格動向に問題はなかった。</p> | |

以上